

三重県の誕生から150周年という節目を迎え、祝うことができ大変嬉しく思います。生まれは違っていても、大切な家族、友達、先生を育てくれた三重県が大好きです。私が望む三重の未来の姿は、みんなが希望をもって幸せに生きられる三重県です。例えば、みんなが毎日ごはんを食べたり、安心して家族と過ごしたり、外で遊んだり、学校に行ったり、周りの人と信頼関係を築いたりできたらいいと思います。最近は物価の高騰や移民の増加などでそんな「普通の生活」が難しくなっているとも聞くので、だからこそ大切に守りたいと思いました。悪い状態のまま先送りにはしたくないです。他にも、素敵な文化や伝統を残せたらいいと思います。では、今まではどうだったのでしょうか。調べてみると三重県は、私が生まれるずっと前からたくさんの辛いことを乗り越えてきたようです。例えば、昭和東南海地震、第二次世界大戦中の空襲、伊勢湾台風、全国共通の不景気やコロナなどです。先人たちのおかげでインフラや法、産業などが築かれたから、今の姿があります。だから彼らと同じように私も社会の一員として将来、良いものをつくり、残し、幸せの礎を未来へつないでいけたらいいなと思いました。これから生まれるであろう子供も、その子供も、そのさらに子供も「生まれて良かった」と思えるような人生を送れたらいいです。私は将来のことがよくわかりません。貢献するために何ができるかを考えても、真っ当に生きて、働いて納税することぐらいしか思いつきません。だからまずは周りの人を大切にしたい。良好な関係を保ちたいです。そして周りをよく知り、よく学び、いつかは自立して人の助けにもなれる本物のカッコいい大人になりたいです。このように、辛いことがあっても、みんなが助け合いながら希望と誇りを持って生きていける、素敵な三重県にしていきたいです。